

## 令和7年度草牟田幼稚園「自己評価」結果について

各項目ごとの平均点としては、多くの項目で中間の2.5ポイントを超えていましたが、「あまりよくできなかった」・「ほとんどできなかった」と回答した項目もあります。その項目を本園の課題と捉え、今後、改善を図ってまいりたいと思います。

評価

(評定は% 平均は4段階)

4：とてもよくできた 3：ほぼできた 2：あまりよくできなかった 1：ほとんどできなかった

番号	評価項目	4	3	2	1	平均
	<b>【教育理念や教育方針の理解】</b>					<b>【3.0】</b>
1	日々「まことの保育」の実践に努め、毎月の{主題}や「お約束」を保育の中で生かせたか。		67	33		2.7
2	幼児の意欲を育て、思いやりとたくましさを持った「生きる力」の基礎づくりに努めたか。	17	67	17		3.0
3	幼児一人一人を大切に、幼児と共に育ちあうことに喜びを感じることができたか。	50	50			3.5
	<b>【教育課程の実施・反省】</b>					<b>【3.0】</b>
4	教育要領、教育・保育要領、保育指針等の内容を理解し、園の教育・保育課程に基づき、年間を通して計画的に保育の充実に努めたか。		67	33		2.7
5	保育内容や行事については、実施後の反省を記録し、今後の実践に生かそうと努めたか。	17	83			3.2
	<b>【健康・安全への配慮】</b>					<b>【3.2】</b>
6	毎日の体調確認を確実に行うとともに、園舎内外の衛生管理に留意したか。	17	83			3.2
7	事故やけがが発生した時は、速やかに園長・主幹・主任等への報告、保護者への連絡を行い、状況に応じた適切な対応ができたか。	33	67			3.3
8	けがや事故に十分気を付け環境整備に努めるとともに、年齢に応じた言葉かけを行っているか。	33	67			3.3
9	幼児が健康・安全に関心を持ち、必要な習慣や態度、危険予知能力等を身に付けられるように配慮したか。	17	67	17		3.0
10	食前の手洗いや配膳、食事のマナーや食事の楽しい雰囲気づくり、栄養等について、幼児の発達に応じた食育に心がけたか。	33	50	17		3.2

	<b>【幼児理解・保育の充実】</b>					<b>【3.0】</b>
11	幼児の話をよく聞き、言葉にならない思いやサインを受け止めるようしているか。	17	83			3.2
12	個々の発達や特性応じた関わりができるよう努めたか。		100			3.0
13	月・週の指導計画を作成し、保育日誌を毎日適切に記録したか。	33	33	33		3.0
14	保育室や園庭は、幼児が安全に楽しく過ごせる場として、整然とした環境の維持に努めたか。	17	67	17		3.0
15	幼児の主体性を引き出すような保育環境の工夫に努めているか。		100			3.0
16	小学校の教育内容について関心を持ち、小学校への接続について考えることができたか。		50	50		2.5
17	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭において子どもの姿を捉え、個々の発達に必要な体験や援助を考えることができたか。		67	33		2.7
18	幼児の主体的遊びを通して、5領域の総合的な指導に努めたか。		100			3.0
	<b>【研修・自己研鑽】</b>					<b>【3.4】</b>
19	園内外での研修を通して、専門職として常に自己の資質向上に努めたか。	33	50	17		3.2
20	各種研修会には目的を持って積極的に参加しているか。	67	33			3.7
21	特別支援教育の進め方について研修を深めているか。	33	67			3.3
22	上司や先輩の指導を素直に受け止め、向上心を持って日々の業務を進めているか。	50	50			3.5
	<b>【家庭や地域との連携】</b>					<b>【3.1】</b>
23	保護者への連絡や情報提供は、きめ細かに行い、信頼を高めることができたか。		100			3.0
24	保護者の悩みや相談には、誠実に対応し、共感しながら聞くようにしているか。	17	67	17		3.0
25	地域や出張所（別院）関係の方々・来園者に、気持ちの良い挨拶をすることを心がけているか。	67	33			3.7
26	園でできる子育て支援について具体的に理解し、地域から信頼される園づくりに努めたか。		67	33		2.7

	<b>【園務等の処理】</b>					<b>【2.7】</b>
27	常に報告・連絡・相談（報・連・相）に努めるとともに、必要な情報を共有することができたか。	17	50	33		2.8
28	当番や分掌業務は、責任を持って確實に行い、提出物は適切に処理できたか。	17	50	33		2.8
29	計画的に業務を行い、定時退勤に努めたか。	17	17	50	17	2.3
30	組織の一員として自分の役割を自覚し、協力して仕事を進めることができたか。	17	67	17		3.0
	<b>【服務態度】</b>					<b>【3.1】</b>
31	あいさつや電話対応等、言葉づかいに気をつけ、いつも明るい態度で過ごすことができたか。		100			3.0
32	服装・髪型・身だしなみに気を付け、保育者としての自覚を持った言動に心掛けているか。	17	83			3.2
33	出勤簿の押印や勤務処理は、忘れずにその都度適切にできたか。		50	33	17	2.3
34	職務上知り得た情報については、守秘義務を順守し、情報管理に努めているか。	83	17			3.8
35	公私の区別を明確にし、物事を公正に処理できたか。	33	67			3.3

## 総括

- 1 領域で見ると「園務等の処理」の評価が低かった。「健康・安全への配慮」と「研修・自己研鑽」がやや高い結果であった。
- 2 上記の領域を項目で見ると,
  - 「園務等の処理」では,  
「計画的に業務を行い、定時退勤に努めたか」の項目が2. 3で他の項目に比べ明らかに低かった。働き方改革の視点で業務の精選や効率化に努めているが、難しい面もある。
  - 「幼児理解・保育の充実」では,  
「小学校の教育内容について関心を持ち、小学校への接続について考えることができたか」の項目が低かった。年齢に合わせた繋がりを意識するとともに、小学校への接続について取り組んでいきたい。
  - 「服務態度」では,  
「出勤簿の押印や勤務処理は、忘れずにその都度適切にできたか」の項目が低かった。特に、出勤簿の押印や勤務処理については、適切な処理の習慣化に全体的に取り組みたい。